

2023年度 **総合型選抜（11月募集）【課題型】**

人間共生学部 共生デザイン学科

**課題発表（プレゼンテーション）****【課題】**

あなたの考える「空想発明品」の模型を制作、プレゼンテーションしなさい。

**【解説】**

ドラえもんが四次元ポケットから出す「どこでもドア」  
怪盗グルーが相手を凍らせる「冷凍光線銃」  
非現実の物語の中にはいつも夢のあるツールが登場します。

そこで身近にでも社会全体でも構いません。  
そこにある問題や課題を解決する、夢のある「空想発明品」を考えてください。

**【要点】**

- ①空想発明品のタイトルを付けなさい(機能がわかるようなもの)。
- ②あなた独自の視点(または発明)、わかりやすい機能があること。
- ③どのような用途、問題(課題)を解決するものか説明すること。
- ④あなたの考える空想発明品の長所短所を示しなさい。
- ⑤空想発明品の模型を実寸大で制作すること(以下「条件」参照のこと)。
- ⑥空想発明品の説明(素材、性能、使用方法、エネルギー源、等々)を示すこと。
- ⑦装置や機器のような内部構造がある場合、その断面図(構造図)をスケッチで示すこと。

**【発表方法】**

面接時(試験当日)にはプレゼンテーションボードおよび⑤の模型(現物)を持参し、  
プレゼンテーションボードにより①～④⑥⑦について発表すること。  
発表時間は6分(時間厳守)。質疑応答に14分(作品への質問等7分、面接7分)合計20分。

**【発表体裁】**

- ・発表用のプレゼンボード
- ・実寸大の模型

**【条件】**

- ・プレゼンテーションボードはA3もしくはB3相当程度の厚紙に示し説明する。  
枚数は制限時間内であれば特段の制限はない。
- ・内容は、手描きでもデジタルソフトで作成出力したものでよいが、見栄え良く丁寧に仕上げること。
- ・プレゼンテーションボードの1枚には必ず道具の全体図(完成想像図)を入れること。
- ・模型は400×400×400mm以内に収まる大きさで制作し持ち運びできる体裁とする。
- ・素材には高価な材料や製品を用いないこと。  
※例えば、ボール紙や空き箱、飲料の容器等、身近で安価な材料を用いてください。
- ・時間の経過によって腐敗するような素材は用いないこと(原則固形材料によること)。
- ・模型ゆえ実際に動作しなくてもよいが道具の機能がわかるものであること。
- ・模型のクオリティ(美しさ)を追求することが目的ではないが内容を説明するに足る完成度があること。
- ・他者作品の模倣は禁止する。

以上。